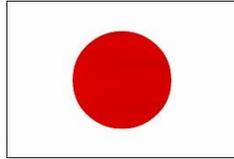




ナミビア通信

～のんびり(Nombili)～



青年海外協力隊
岩塚善哉
8th. April. 2019 No.8

ご入学、ご進級おめでとうございます。これから新しい生活が始まりますね。気持ち新たにこの一年頑張ってください。陰ながら応援しています。私は青年海外協力隊として、2018年7月からナミビアで生活しています。青年海外協力隊とは、開発途上国（経済成長の途上にある国）の支援をします。私は教育事務所で活動し学校で授業をしたり日本の教材の紹介をしたりしています。～のんびり(Nombili)～とは、私が活動している地域のオシワンボ語の挨拶で「平穏な」「穏やかな」という意味です。日本語の意味とよく似ていますね。この通信を通して、異文化について少しでも興味をもってもらえたらうれしいです。

ナミビアの教科書について(About Textbook)

ナミビアの学校では、教科書は一年間使用したら返却し、下の学年に受け継いでいきます。教科書には必ずカバーを付けて何年も使用して大切にしています。一人一人にいきわたらないこともあり、教科書を何人かで共有していることもあります。自分の教科書がないため、黒板に書かれたことを写したノートが教科書の代わりになります。皆さんの学校では、どうでしょうか。毎年、自分だけの教科書が配られていますね。その教科書、毎年大切に使っていますか。たった一年しか使用しない教科書です。大切に扱ってしっかり使ってください。



ノートが教科書代わり



段ボールのキーボード

ナミビアでは、テスト次第では、進級できないことがあります。教科書がないことで、テスト勉強ができず問題になっているということが新聞の記事にもなったことがあります。その他には、コンピュータの授業では、コンピュータがないため、キーボードを段ボールで作りタイピングの練習します。日本では、モノが当たり前にある生活をするので、モノのありがたみについて考えさせられます。

ナミビアでは、テスト次第では、進級できないことがあります。教科書がないことで、テスト勉強ができず問題になっているということが新聞の記事にもなったことがあります。

その他には、コンピュータの授業では、コンピュータがないため、キーボードを段ボールで作りタイピングの練習します。日本では、モノが当たり前にある生活をするので、モノのありがたみについて考えさせられます。

独立記念日について(Independence day)

ナミビアはドイツや南アフリカからの植民地支配があり、1990年3月21日に独立しました。そのため、3月21日は毎年「独立記念日」として休日になります。首都では大統領のスピーチがあり、テレビで放映されていました。街ではナミビアの国旗を着て歩く人も多く見られました。

多くの学校では、前日にお祝いをします。学校の授業はなく、大きなイベントとして学年ごとに地域（オバンボ族）の伝統的なダンスを踊ったり、出し物を発表したりします。

私の地域オカハオでは、ピンク色の衣装が伝統的な衣装になります。この衣装を着て、太鼓を鳴らしながら踊ります。

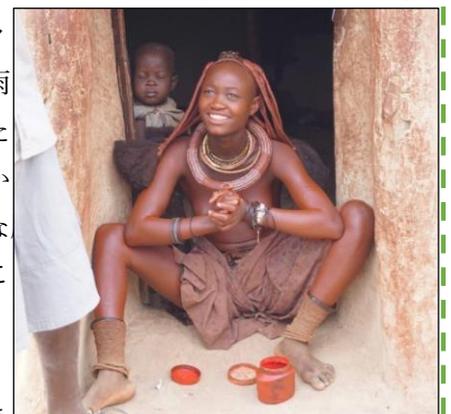


オバンボ族のダンスと伝統的衣装

ヒンバ族について(Himba tribes)

ナミビアには10以上の民族が暮らしており、そのうちのヒンバ族の村を訪問しました。首都では日本と変わらない生活を送ることができる場所もありますが、ヒンバ族は伝統的な生活を続けています。「世界一美しい民族」と言われたことがあり、様々な飾りを身に着けます。お香を焚いたり、オカという牛脂と赤土からできたクリームを体や髪の毛に塗ったりすることで清潔に保ち、紫外線から皮膚を守ります。水が貴重なため、体を洗う習慣がありませんが、オカやお香によって独特の良い香りがしました。村のヒンバ族の人々は自分の年齢は知らず、雨の降った年、降らなかった年などの推測でしか、わかりません。また、現代的な着ることや、学校に行くことは自分で選びます。

普通とは何かということを考えさせられる生活がありました。



ヒンバ族の女性